

# あと施工せん断補強「サイトフィットネイリングバー (SNB)<sup>®</sup>」工法の開発

Development of Anchor which is used after construction for Shear Reinforcement "Site-fit Nailing Bar (SNB)"

▶キーワード：特殊ナット，アンカー，モルタルカプセル

佐藤幸三 \*

藤波 亘 \*\*

西田徳行 \*\*\*

西見宣俊 \*\*\*\*

\*技術研究所 \*\*土木設計部設計1課 \*\*\*土木部リニューアル課 \*\*\*\*土木設計部設計3課

## 概要

あと施工せん断補強「サイトフィットネイリングバー (SNB)<sup>®</sup>」工法は供用中の RC 部材のせん断補強を部材片面から行うためのあと施工せん断補強工法である。あと施工タイプのせん断補強鉄筋の施工においては、既設 RC 部材の部材厚や配筋ピッチ等が竣工図と実際の現場で相違する可能性があることや、施工箇所が狭隘であることが問題となっている。そこで、本工法は、両端に現場で装着可能な特殊ナットを配置した「サイトフィットネイリングバー (SNB)<sup>®</sup>」と、水に浸漬するだけで所定の性能を発揮する「SNB カプセル」を用いることによって、現場での即応性、作業の簡素化、汎用機器での施工等、実施工における適用性に優れた工法とした。「サイトフィットネイリングバー (SNB)<sup>®</sup>」は（一財）土木研究センターからナット定着型あと施工せん断補強鉄筋として建設技術審査証明（第 1507 号，平成 27 年 12 月 14 日）を取得した。

## 成果

- 「SNB」の規格降伏強度相当の定着長は 4D（D：鉄筋径）である。
- 「SNB」を配置した後のせん断耐力は、一般的なせん断補強筋でせん断補強した部材のせん断補強鉄筋によるせん断耐力寄与分に「SNB」の有効率を乗じたものとして評価できる。
- 部材の片面からのせん断補強に対して、所要の品質を確保して確実な施工ができる。
- 狭隘な空間において、大型機材を使用せずに容易かつ迅速に施工できる。

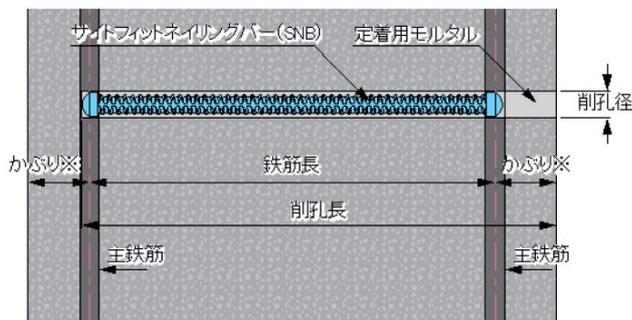


図-1 「サイトフィットネイリングバー (SNB)<sup>®</sup>」の概要

特殊ナット



写真-1 「SNB」



写真-2 「SNB」の打込み